



TransCut 300

水プラズマ切断システム



日本総代理店

愛知産業株式会社

取扱が容易で、必要に応じ、いつでも、どこでも使える

一般的事項

圧縮空気ではなく、液体を使用

フローニアスが技術革新について、論ずる場合、常に、それなりの理由が存在する。

ここで、ご紹介する、水プラズマ・システムの場合、大変簡単な理由である。

すなわち、トランス・カット・システムは、従来のような、圧縮空気を利用せず、少量の液体を利用する点にある。

この液体が高エネルギープラズマ・ジェットを発生させる媒体として働き、且つこの新ユニットは、極めて軽量で、ポータブルになっている。

この結果、トランス・カット300 システムは、現場で利用可能な、コンパクト・プラズマ切断機となっている。

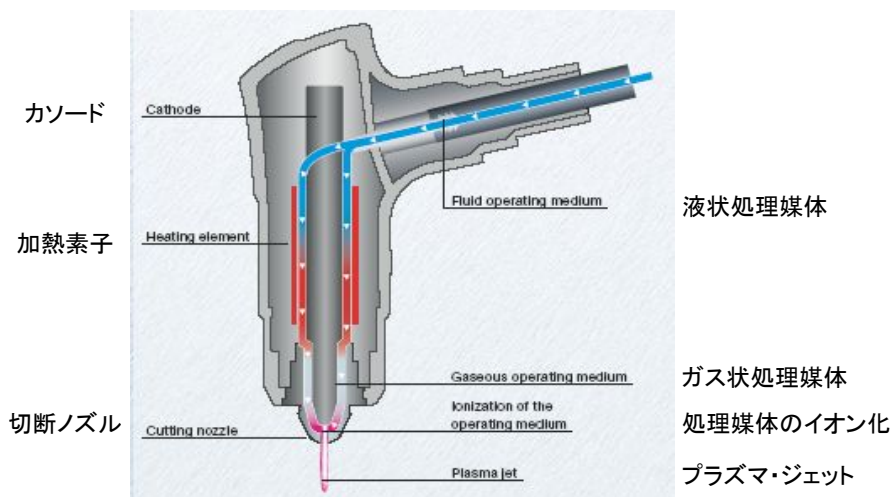
ハンドリング(取扱)

持ち運びに制約がない

その重量は、わずか 14.6 kgであり、トランス・カット 300 システムは、このクラスとしては、もっともコンパクト、且つ軽量である。本システムは、230 V のメイン電源、或いはそれ相当の発電機を使い、使用する。このコンパクトな切断機は、いつでも、どこでも簡単に運べて、システムのセットアップも容易である。

そのため、トランス・カットは、極めて現場向きの機械であるといえる。

必要があれば、ひょいと肩にかついで、現場に赴き、プラグ止めすれば、すぐに切断に使える。



省スペース型の液体が、切断媒体として、働く。

切断トーチ内部で、液体が加熱され、気化する。

その結果：

最大板厚=6mm までのワークに対し、高品質の切断が可能で、持ち運びも容易で、圧縮空気利用の切断機に比べ、公害排出量も、少ない。

切断特性

クリーン・カットの実現

水ベースの媒体を使用するため、切断表面の窒化を防止し、光沢のある、酸化フリーの金属的にクリーンな表面を実現している。これは、又、その後の溶接プロセスにおいて、気孔発生リスクを、大幅に減らせる。

グリーン・カッティング

(公害排出物質を、90%以上削減可能)

以上のような、多くの利点に加え、決して見逃してはならない、メリットがあります。すなわち、トランス・カットによる切断は、「グリーン・カッティング」と呼べる性格もっています。

何故なら、トランス・カットは、切断時に発生する、有害な汚染物質を、90%以上削減できるからです。

これにより、作業域の環境は、大幅に改善されます。

同時に、トランス・カットは、金属スパークの飛散を最小限に抑え、対象部品の汚れを削減できます。

特に、パイプ・ラインの建設においては、事後のクリーニング、或いは再加工の必要が大幅に減らせます。

TransCut は、
どこでも、容易に
持ち運び可能です。



サマリー

製品特性

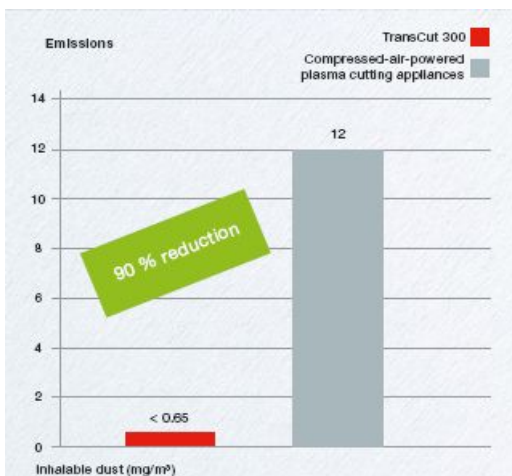
- (1) 無制限の携帯性
- (2) 排出汚染物質の削減
- (3) 切断媒体に液体を使用

切断特性

- (1) スチール、ステンレス、及びアルミの切断
- (2) 最大板厚=6mm までを対象とする、高品質のカッティング
- (3) 切断表面の窒化、或いは酸化がない

用途

- (1) エアコン・システムの製造
- (2) 自動車・修理工場 / 車体製造
- (3) 現場・建設工事



TransCut 300 の場合の、吸引可能なダスト量
圧縮空気使用の、プラズマ切断機の場合



切断時に発生する、スパークを大幅に削減できるので、事後の、クリーニング、或いは再加工の必要性も減る。



機械の活用方法

トランス・カット・システムは、腰掛けた姿勢でも、作業可能。

トランス・カット・システムは、手軽に持ち運びできるので、現場仕事に向いています。

その用途は、エアコン空調システムから、自動車の修理、及びボディー製造現場と、多岐にわたり、そのほか、建築現場、工場建設現場、及びパイプライン建設現場での、保守、あるいは修理に使える。

切断対象ワークの材質は、鉄、ステンレス・スティール、及びアルミがある。

又、高品質の切断が、最大板厚=6mm まで、可能。

技術仕様

		TransCut 300
メイン電圧、単相	+10% / -15%	230 V
メイン・フューズ保護(スロー・ブロー)		16 A
切断電流範囲		16 - 30 A
切断電流	使用率=35%	30 A
	使用率=100%	6 A
タンク満タンでの、使用時間		3時間
機械保護レベル		IP23
機械寸法(mm)		460 × 180 × 275
機械重量		14.6 kg



販売店



いつでも世界の先端技術
愛知産業株式会社

〒140-0011 東京都品川区東大井2-6-8 TEL 03-6800-1122

〒465-0092 名古屋市名東区社台 1-107 谷口ビル TEL (052) 769-6131

〒658-0031 神戸市東灘区向洋町東 2-7-9 TEL (078) 846-6060

〒732-0008 広島市東区戸坂くるめ木 1-3-23 TEL (082) 220-1740

URL <http://www.aichi-sangyo.co.jp>

PEIG
こちらからでもアクセス出来ます→

